

2025



ここにもそこにも 経営学

ケイエイガク



撮影協力: Times CAFÉ

パーク24グループが運営するJR五反田駅から約徒歩3分のカフェ。近隣のビジネスパーソンがコーヒーを楽しむ。

例えば、コーヒーが美味しい
カフェ。オシャレなアイテムが
並ぶ雑貨屋さん。お店が人気
の理由には、実は「経営学」の
シカケが隠れています。「店員
さんは何人?」「値段は?」「商
品は何個並んでる?」あなたの
お気に入りのお店には、どん
なシカケがある? 経営学の視
点で街を見てみよう。

Faculty of
Business Administration



Areas of Study

カフェにはどんな経営学がある？

誰もが足を運びたくなる素敵なおいの場は
美味しいコーヒーを用意するだけでは完成しません。
経営学のシカケは、4つの領域からできています。

経営学の専門領域

憩いの場を作る経営のシカケ

戦略経営

人気のカフェでは、上質なサービスを提供してくれるスタッフが働いています。優秀なスタッフが集まる理由は「戦略経営」で学ぶことができます。「戦略」とは、企業が成長し競争していくためのシナリオです。企業が成長するためには、目標をきちんと設定し、それを実現するためのシナリオを考えなければなりません。人気のカフェには、スタッフの育成、組織づくり、リーダーシップの強化など、戦略経営のシカケが隠されています。



マーケティング

あなたが手にしているコーヒーを買った理由は何ですか？その理由は「マーケティング」で学ぶことができます。マーケティングでは、消費者の思考や心理を分析しながら、モノやサービスが売れるシカケを学ぶことができます。あなたが「欲しい！」と思った背後には、パッケージのデザイン、ブランド構築、広告宣伝など、マーケティングのシカケが働いています。



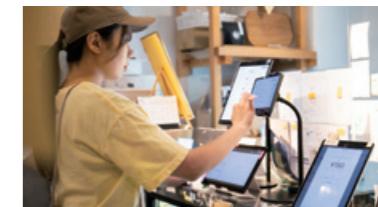
会計

カフェを経営するうえで何よりも必要なのは「お金」です。カフェを出店するための資金をどうやって集めるのか？新しいメニューを作るのにいくら必要なのか？一杯のコーヒーで利益はどのくらいであるのか？これらの疑問を解決する助けとなるのが「会計」です。会計では、お金の計算、記録、調達、管理などを学ぶことができます。カフェ経営でお金の流れを把握するためには、会計のシカケを理解する必要があります。



情報システム学

カフェでスタッフがタブレット端末を操作していますが、何をしているかわかりますか？その答えは「情報システム学」で学ぶことができます。情報システム学では、情報を集約してヒト・モノ・お金をつなぎ、経営をサポートするシカケを学ぶことができます。カフェのタブレット端末はレジシステムとして利用されており、販売数や在庫管理などをリアルタイムで確認することができます。小さな端末ですが、情報システム学のシカケが隠されています。



Campus days

in 街

経営学部にとっては、街こそが学びのキャンパス。
大学で学んだ理論を、学外でのフィールドワークや
企業との連携などをとおして自由に実践していきます。



キャンパスのあちこち
にあるラウンジで調査の振り返り。



キャンパスの象徴
「R」のモニュメント
で待ち合わせ。

Shinagawa Campus
品川キャンパス

いま何してる?

▶ 家か、学校か、いやカフェだ

「カップのメッセージ」をとおしてカフェのリピーター確保をめざす試み。実際にカフェで接客を体験し、カップにメッセージを書いてお客様の反応を調査。さらに、メッセージ付きカップをSNSに発信する仕組みでお店の周知につなげた。



SEMINAR
INTRODUCTION

ゼミから始まるリアルな学び。

ゼミとは、少人数の学生が主体となってテーマの選択、調査・発表・討論を行う「学びの場」。経営学部の約20もの多彩なゼミでは、経営学の専門家である教員のもと、ビジネスの中心地にある品川キャンパスならではの「生きた経営学」を学べます。

PROCESS
4年間のプロセス

1年次に、4つの専門領域「戦略経営・マーケティング・会計・情報システム学」の基礎を学修。2~3年次には興味を持った専門分野について、ゼミで研究していきます。4年次はその集大成として卒業論文を執筆します。

- 1年次**
「4つの領域」の基礎を修得
- 2・3年次**
ゼミを選択し、専門分野を研究・実践（専門分野以外は講義でフォロー）
- 4年次**
卒業論文の執筆、ゼミ単位で就職活動のバックアップ

2・3年次

座学 研究テーマを実践・応用するために、授業形式でテーマの知識を深める。

プレゼン

ゼミナール大会や他大学、海外大学などで研究成果を発表する。

フィールドワーク 企業や団体、店舗、工場などへ見学、取材に行き、調査する。

合宿

研究テーマに合った地域で、泊りがけで企業訪問、調査内容をまとめる。

インゼミ
(インターフェザーナル)

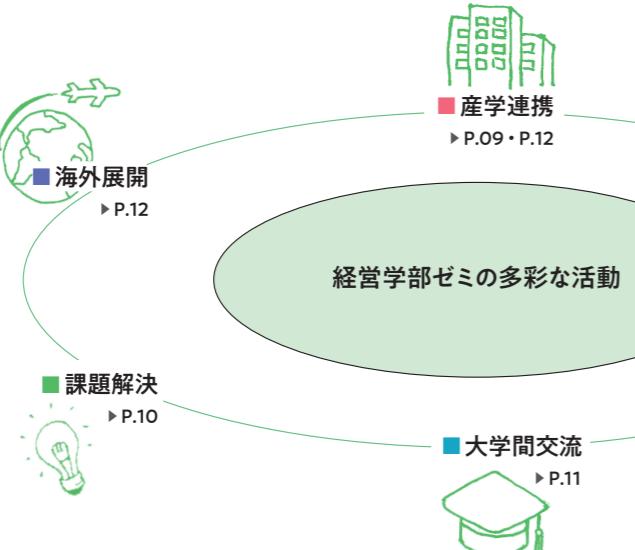
他大学と一緒に研究発表し、活発なディスカッションやプレゼンをする。

4年次

個人研究 グループ研究の経験をいかし、個人で計画を立てて研究する。

卒業論文 これまでの集大成として、研究テーマを論文にまとめ発表する。

企業との商品開発や自治体での事業提案、海外企業インターン、他大学での討論・プレゼン、論理的思考を磨く理論研究、資格取得など、学内外で実践的に学べる環境が整っています。



SEMINAR
01

浦野ゼミ

産学連携

ココが実践的

企業と一緒に研究・企画開発
リアルなマーケティング体験
社会で生きる共創力が身につく

産学連携でアサヒビール(株)の本社で社員の方々にプレゼン。



ニューバランスジャパンでは若者向け販売企画案を提案。



消費者に関する理論をマーケティング戦略に応用し、学生が主体となって実践的な研究を行っています。主なテーマは「マーケティング戦略」「消費者行動」「サービス・マーケティング」「観光マーケティング」。3年次の産学連携活動では、アサヒビール、ニューバランスジャパン、H.I.S.、三越伊勢丹、大丸東京店、京王プラザホテル、東急レクリエーション、トリップアドバイザーといった企業とプロジェクトを行ってきました。

マーケティングを実践
商品企画、開発まで

現場でリサーチ、

文献研究やフィールドワークを通じて、「情報収集力」「データ分析力」「企画力」「論理構築力」「プレゼン力」などマーケターに必要なスキルが身につきます。グループ活動によって、協調性や連携力といった力も培われます。産学連携プロジェクトでは、社員の方々との議論やプレゼンをおこして、ビジネスの現場を体感できます。「理論と実践の融合」をめざしています。



PROFESSOR

浦野 寛子 教授

専門分野

マーケティング戦略
消費者行動論
サービス・マーケティング

SEMINAR
02

木村ゼミ

課題解決

ココが実践的

- 社会の課題に取り組む
- 実際のコンテストに参加
- 企画提案の経験値アップ



I. 新規事業

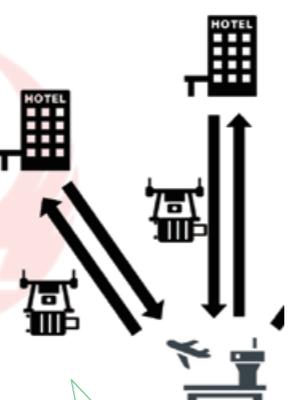
単なる“移動”をより賢く、より快適に

移動の際に負担となる大きな荷物を空港から旅行客それぞれの宿泊先へ、旅行客それぞれの宿泊先から空港へ、ドローンを用いて直接輸送するサービス

身軽な状態で観光ができるため限られた旅行の時間をより有効的に、より効果的に

JALの航空券による顧客データと照合することによって飛行機の搭乗までをスムーズに行うことも可能

コンテストで日本航空株式会社の課題解決プロジェクトに提案。



「企画立案」を体感
コンテスト参加や
事業提案や

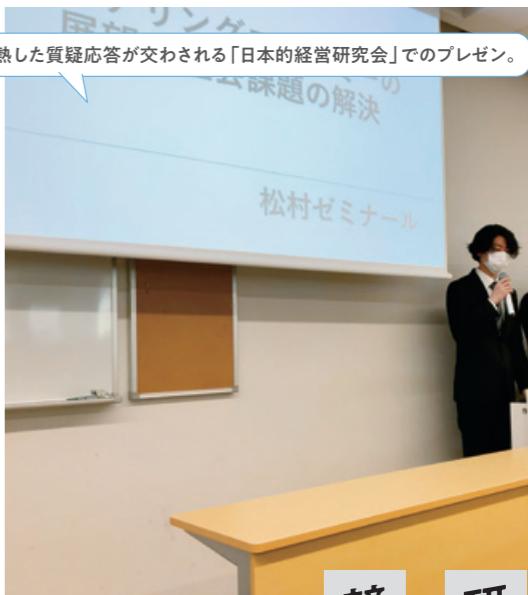
SEMINAR
03

松村ゼミ

大学間交流

ココが実践的

- 「経営戦略」についてグループ研究
- 他大学と議論を交わす
- 競い合い相互に向上



研究発表大会
関東圏の大学と

競争をとおして切磋琢磨



「日本の経営研究会」ではアンケート調査などで検証した上で論文執筆。

宣伝会議やマイナビの販促企画コンテストに参加。若手クリエイター中心のものもあり、入賞を狙うのは難しいですが、実際の企業課題に取り組むことで、座学では得られないリアルな企業活動の一端を経験することができます。実績としては、2020年からの3年間で、計3作品が入賞しています。



質疑応答では他のグループから厳しい指摘が飛ぶことも。

「経営戦略」という、企業が経営目的を達成するための方策に関する諸問題について研究しています。2年次では「戦略経営」について詳しく学び、学内のゼミナール発表大会でプレゼン。3年次にはグループで協力して一つの論文を書き上げ、他大学との研究会に臨みます。数々の関東の大学のゼミと競争で切磋琢磨することで思考力・表現力を磨き、多様な視点や価値観を知ることで気付きを得る体験ができます。



テーマパークに行くイベントなどでゼミ内のコミュニケーションも円滑に。

現実の企業課題に対して、企業組織内で実際に働いた経験のない学生が考えて答えを出すことは、決して簡単なものではありません。ゼミでは、座学のなかで学ぶ「経営学」や「マーケティング」などの知識を有効に活用し、新たな経験として企画案を考えることで、課題を分析し、考える力を磨くことができると言えています。



PROFESSOR

木村 浩 教授

専門分野

マーケティング戦略
マーケティング・サイエンス

経営に関する問題を探し、解決策を考えていく「問題解決能力」やそれを表現する「プレゼンテーション能力」が養われます。大学間で労働問題や企業の人事管理などをテーマに白熱した発表・討論を行う「研究発表大会」などにも参加しており、異なる研究領域のゼミが発表し合うことで新たな意見や考え方にお会えます。



PROFESSOR

松村 洋平 教授

専門分野

経営組織論
経営戦略論
企业文化論

SEMINAR
04

藤井ゼミ

海外展開・产学連携

ココが実践的

- 海外インターンで企画提案
- 商品をブランディング、開発
- 学生が主体的にゼミ運営



海外インターンシップでは、タイ・バンコクの日系中小企業で約1ヶ月間、研修を実施。現地スタッフとの交流や企業訪問・ヒアリングなどをとおして異文化でのビジネスに触れ、価値観が大きく広がります。また、五反田のベンチャー企業と連携し、フードロス削減をテーマに規格外の野菜をEC販売したり、カフェとのメニュー開発などにチャレンジ。山梨の中小企業とともにちみつのブランディングや商品開発を行っています。



学んだ会計学や経営学の知識を実践・経験する場として、产学連携や海外インターンの機会を設けています。グループ研究やプロジェクト活動をとおして、「自主性や協調性」「プロジェクト遂行能力」「多様な世代や国籍の人々とのコミュニケーション能力」が養成されます。学生主体で研究活動、プロジェクト活動に加え、合宿やイベントなどのゼミナール運営に取り組むことで、共創力を向上させます。



PROFESSOR

藤井 博義 教授

専門分野

管理会計
社会・組織的実践としての会計

ゼミだけじゃない!
ケイエイの
マナビ

立正大学経営学部では、
他にも多様な授業を開講しています。

新入生オリエンテーション

どうやって授業を選べば良いのか分からない新入生は多いです。そこで、先輩による履修指導・生活相談の充実したサポートをオリエンテーションとして実施しています。



TOEIC®補助金+英語IA(選抜)

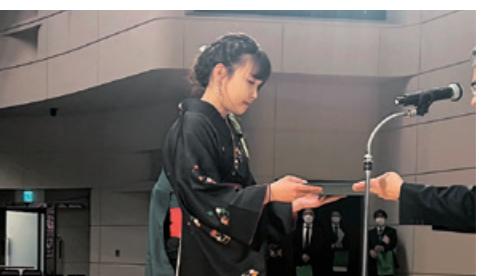
TOEIC®を受験する際には補助金が支給されます。また英語の選抜クラスではリスニングで耳を鍛え、英語によるプレゼンで口を鍛え、実践的な英語を学ぶことができます。



学生が作成したイギリスの観光案内です。

資格取得奨励賞

TOEIC®、公認会計士、ITストラテジスト、中小企業診断士などの資格を取得した学生を表彰しています。2022年には在学中に2名が公認会計士論文式試験に合格しました。



経営総合特論

経営者や有名企業のマネージャーを毎回招くので、企業経営の生の声をきくことができます。ビジネスの中心にキャンパスがあるからこそ可能な授業です。



オリエンタルランド、野村證券などから講師をお招きしています。

MOS講座

MOSはMicrosoft Office Specialistというマイクロソフト社が認定する資格制度です。合格率は毎年95%以上で、この資格は就職活動でも役立ちます。





大学で学んだ経営学が強みに。
クライアントとの意思疎通では

公認会計士試験合格者
有限責任監査法人 あざさ監査法人勤務
服部 紗華さん（2022年度卒業）

立正大学のオープンキャンパスで会計士という仕事に魅力を感じ、会計学を専攻しました。現在は、監査調書の作成や開示書類の確認、クライアントへのヒアリングなどの業務を担当。主なクライアントは食品や小売関連の企業で、地方出張に赴くこともあります。クライアントに指摘をしなければならない仕事なので、企業経営に携わる相手側の視点に立つために、大学で学んだ経営学も役立っています。今後、実務と試験を経て視野の広い公認会計士となることをめざしています。将来は海外でも働いてみたいと考えています。



株式会社ナプラ
横浜支社 営業部勤務
森川 大輔さん（2018年度卒業）

現在は営業として、お客様である代理店様やサロン様へ、自社で製造するスタイリング剤などの新商品やキャンペーンのご提案をしています。商談に際しては、事前にお客様の特徴やデータを収集し、それを元に課題やご要望を想定して提案に臨みますが、この作業は大学のゼミ活動での企業訪問で体験したフィールドワークの流れそのもの。その時の経験がベースとなり、現在は効率的な動きや、丁寧な対応を社内外で認めていただけるようになりました。今後はさらに人間性を磨き、営業のチームリーダーをめざします。

フィールドワークでの経験が
営業スキルの向上へつながった。

理美容師国家試験合格者
株式会社Lond Holdings
Lond generous柏勤務
羽田 航さん（2020年度卒業）

大学4年次と卒業後の1年で美容師資格を取得しました。入社のきっかけは、大学での業界研究でLond Holdingsを取り上げたことです。当時は美容に興味があったものの仕事にするには、まだ迷いがありました。しかし店長さんを取材するうちに、先駆的な経営や人材育成への取り組みに惹かれ、「この会社で美容師として働きたい」と意志が固りました。将来は店長としてお店を任せられること目標ですが、出店の検討や売り上げを管理するようになった時、大学で得た経営学の知識が大きな武器になると思います。

自分の進路を発見した。
業界研究の訪問先の企業で

